

消防おくら

阿部六陽筆

災害情報

令和2年6月末 現在

火災 4件

救急 166件

救助 46件

日原街道開通



『もう一度 確認 安心 火の用心』

作者 菅野 珠加さん（江戸川区在住）

令和2年度 東京消防庁防火標語

監修 奥多摩消防署

発行 奥多摩防火防災協会

電話 0428(83)2299

水の事故を防止しよう

夏は河原でバーベキューをしたり、プール等に出かける機会が増えて楽しい季節ですが、おぼれて救急搬送される事故も、この時期に多くなります。

乳幼児では、子ども用のビニールプールでおぼれる事故も発生しています。

川やプール等でおぼれる事故は、生命を脅かす事故となる可能性が高いことから、十分な注意が必要です。

河川やプールで水の事故を防ぐために

①小さい子どもと一緒に水遊びをする際は、子どもから目を離さず保護者や大人が必ず付き添って遊びましょう。

②飲酒後や体調不良時には遊泳は行わず、もし遊泳をしようとしている人がいたら、周りにいる人は遊泳をやめさせましょう。



③海や河川では、気象状況に注意を払い、荒天時や天候不良が予測される場合は遊泳や川岸等でのレジャーは中止しましょう。

④海や河川では、ライフジャケットを着用するなど、事故の未然防止に努めましょう。



新型コロナウイルス対策について

暮らしや働き方の「新しい日常」

新型コロナウイルス感染症を乗り越えていくために、暮らしや働く場での感染拡大を防止する習慣＝「新しい日常」を、一人ひとりが実践していきましょう。

手洗いの徹底・マスクの着用



ソーシャルディスタンス

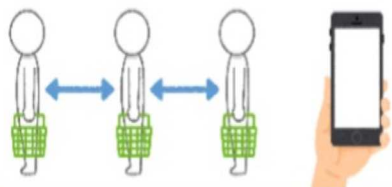


「3つの密」を避けて行動



買い物

- 少人数・短時間で済まそう
- レジで並ぶ時は間隔をあけよう
- 通販やキャッシュレスを活用しよう



娯楽・スポーツ等

- オンラインを活用し楽しもう
- 公園は空いている時間、場所を選ぼう



公共交通機関

- 混んでいる時間帯を避けよう
- 徒歩や、自転車を利用しよう



食事

- お箸やお皿の共用を避ける、座り方を工夫するなど、新しい食事マナーを実践しよう
- テイクアウトやデリバリーを利用しよう



働き方

- テレワークや時差出勤を広げよう
- オンライン会議やはんこレスを進めよう
- ついたてや換気、消毒など、職場に応じた工夫をしよう



引用元：「東京都防災ホームページより」

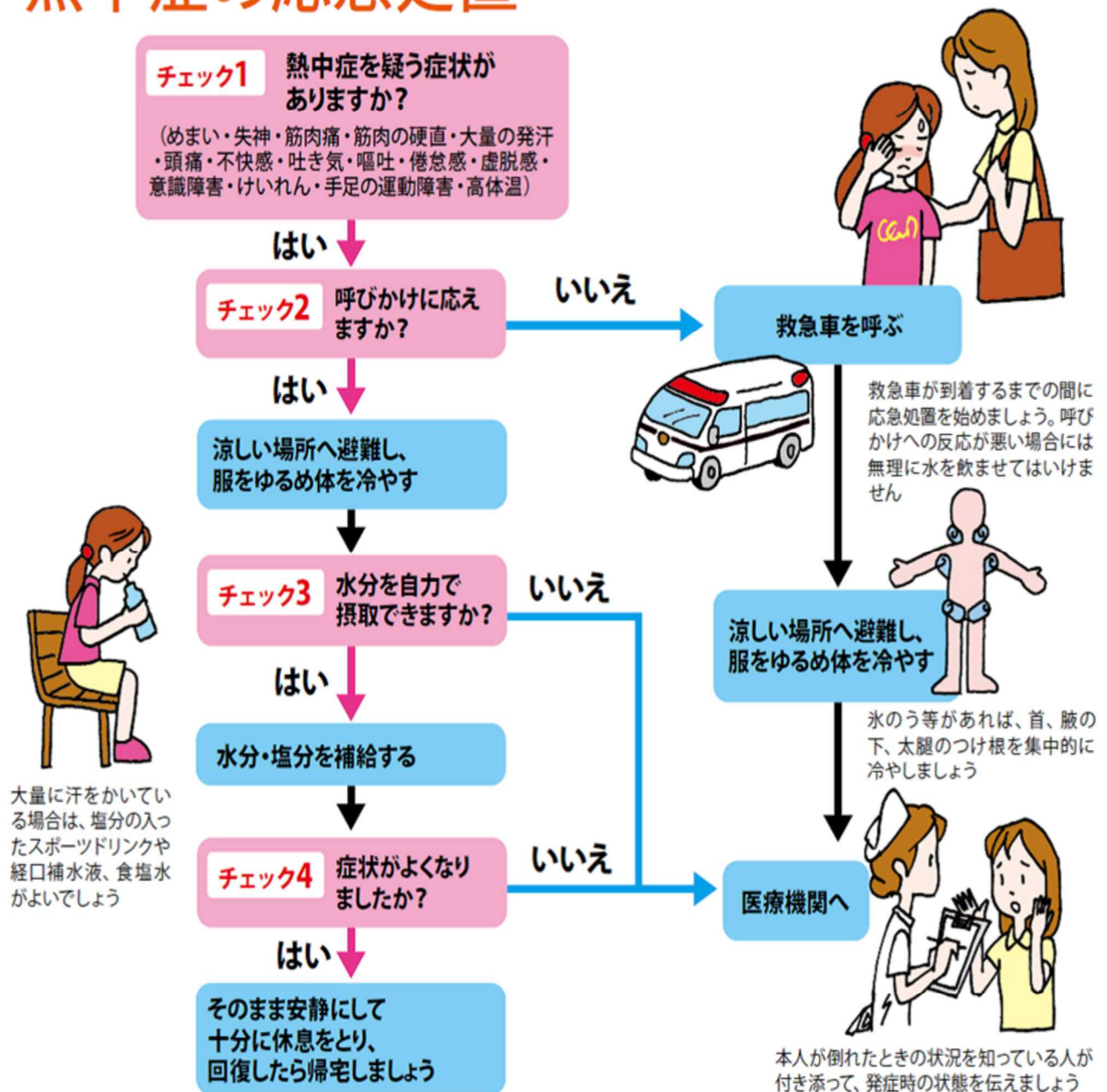
※新型コロナウイルスとの戦いは長期戦となりますので、皆さん一人ひとりが協力し相手の立場に立ち感染防止に全力を尽くしていきましょう。

熱中症を疑う症状と応急手当

熱中症を疑った時には、放置すれば死に直結する緊急事態であることをまず認識し、下図を参考に対応してください。

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。



熱中症を疑ったときには何をすべきか